

N-アセチルムラモイル-L-アラニル-D-グルタミル-L-リジン-(N6-グリシル)-D-アラニン-D-アラニン-ニリン酸ウデカプレニル-N-アセチルグルコサミン:グリシン グリシルトランスフェラーゼ

Cat. No. EXWM-2290

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 この酵素は、荷電tRNAから MurNAc-L-Ala-D-isoglutaminyL-L-Lys-(N6-Gly)-D-Ala-D-Ala-diphospho-ditrans,octacis-undecaprenyl-GlcNAcへの2つのGly部分の連続的な転送を触媒し、ペントペプチドの位置3のL-LysのN6にEC 2.3.2.16 (リビッドII:グリシングリシルトランスフェラーゼ) によって以前に付加されたGly残基にそれらを付加します。これは、黄色ブドウ球菌が異なるグリカン鎖を相互に交差結合するために使用するペントグリシン間ペプチド橋の合成における第二のステップです。次のステップは、EC 2.3.2.18 (N-アセチルムラモイル-L-アラニル-D-グルタミル-L-リジル-(N6-トリグリシン)-D-アラニル-D-アラニン-ジホスホンドカプレニル-N-アセチルグルコサミン:グリシングリシルトランスフェラーゼ) によって触媒されます。この酵素はメチシリン耐性に不可欠です。

別名 femA (遺伝子名) ; N-アセチルムラミル-L-アラニル-D-グルタミル-L-リジル-(N6-グリシル)-D-アラニン-D-アラニン-ジトランス、オクタカス-ジホスホンドカプレニル-N-アセチルグルコサミン: グリシン グリシルトランスフェラーゼ

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 2.3.2.17

反応 MurNAc-L-Ala-D-isoglutaminyL-L-Lys-(N6-Gly)-D-Ala-D-Ala-ニリン酸-ニトランス,オクタシス-ウデカプレニル-GlcNAc + 2 グリシル-tRNAGly = MurNAc-L-Ala-D-isoglutaminyL-L-Lys-(N6-トリ-グリ)-D-Ala-D-Ala-ニリン酸-ニトランス,オクタシス-ウデカプレニル-GlcNAc + 2 tRNAGly

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。